

# 駒澤大學 禪研究所年報

第 7 号

特集・道元入宋時代の宗教と社会と文化(2)

## 目 次

【公開講演会】隨處に主となる.....	河野 太通	( 1 )
【特集・道元入宋時代の宗教と社会と文化】		
宋代台州臨海県における庶民の経済力と社会		
一寺觀への寄付金一覧表から一.....	伊原 弘	( 15 )
南宋妖神信仰素描		
一山魈と廬鬼と社祠一.....	金井 徳幸	( 51 )
『天童如淨禪師統語錄』考.....	何 燕生	( 67 )
道元禪師が記した南宋大禪院の伽藍.....	関口 欣也	( 89 )
鎌倉時代の僧侶と『首楞嚴經』.....	高橋 秀栄	( 95 )
『正法眼藏抄』における『眼藏』理解について		
一本覚法門への批判点をめぐって—その俗諦常住の理解について		
I 『窮源尽性抄』における俗諦常住の考察.....	山内 舜雄	( 119 )
潔堂派切紙に関する一試論		
一常光寺史料を中心として一.....	飯塚 大展	( 141 )
『出家』と『出家功徳』.....	本多 寛尚	( 163 )
中世曹洞宗における代語文献の研究(四).....	安藤 嘉則	( 181 )
駒澤大学禪研究所現況.....		( 213 )
駒澤大学禪研究所規程.....		( 215 )
『宗門統要集』よりみた宋代禪の特色.....	石井 修道	( 236 )
ピーター・グレゴリーへのリスpons.....	川槁 正秀	( 248 )
【特集・道元入宋時代の宗教と社会と文化】		
江蘇・浙江の言語について.....	中嶋 幹起	( 258 )
【公開講演会】曹洞宗における袈裟のシンボリズム		
.....	ベルナール・フォール／川槁正秀訳	( 282 )

1996年3月

駒澤大學禪研究所

駒澤大學禪研究所

駒澤大學禪研究所年報

第七號

一九九六年三月

ANNUAL REPORT  
OF  
THE ZEN INSTITUTE

No.7 March 1996

Special Issue: Religion, Society and Culture in Song China at the Time of Dogen's Travels (Part2)

---

Contents

Public Lecture: Be Master of Yourself

Kawano Daitsu, President of Hanazono University ..... (1)

Special Issue: Religion, Society and Culture in Song China at the Time of Dogen's Travels:

The Economic Power of the Masses in the Society of Lin-hai Province of T'ai State under Song Dynasty

Ihara Hiroshi, Leturer, Nippon University ..... (15)

The Faith on Specters in the Southern Song Period: Shan-xiao (山魈), Wen-gui (魈鬼) and She-ci (社祠)

Kanai Noriyuki, Lecturer, Waseda University ..... (51)

A Research on *Tiantong-rujing -xu-yalu* (天童如津禪師統語錄)

He Yansheng, Research Fellow of the Japan Society for the Promotion of Science ..... (67)

Zen Master Dogen's Documents on the Sangarma of Great Zen Monasteries of Southern Song

Sekiguti Kinya, Dr.Prof. Directer of Library of Yokohama National University ..... (89)

The Priests of Kamakura Age and "Śūraṅgama-samādhi-Sūtra"  
(首楞嚴經)

Takahashi Shuei, Chief Curator of Kanazawa-bunko Museum ..... (95)

A Study of Understanding of *Shobo-genzo* in the *Kikigaki-sho* (聞書抄)  
Yamanouchi Shun'-yu, Professor Emeritus, Komazawa University ..... (119)

A Study of the Kiri-gami (切紙) Recorded by the Monk of Ketsudō Sect	
Iizuka Daiten, Graduate Students of Komazawa	
University .....	(14)
A Study on the Chapters on <i>Shukke</i> (出家) and <i>Shukke-kudoku</i> (出家功德)	
of the <i>Shobo-genzo</i> (正法眼藏)	
Honda Kansho, Graduate Students of Komazawa	
University .....	(163)
A Study on the Dai-go (代語) -Literature of Soto Sect in Medieval	
Japan	
Ando Yosinori, Associate Professor, Komazawa Women's	
Junior College .....	(181)
The Current Situation of the Zen Institute, Komazawa	
University .....	(213)
The Regulations of the Zen Institute, Komazawa University ...	(215)
The Distinctive Character of Song Chan's Buddhism as Seem from	
the <i>Zongmen-tongyao-Ji</i> (宗門統要集)	
Ishii Shudo,Professor, Komazawa University.....	(236)
A Response to Peter N. Gregory	
Kawahasi M. Seishu, Reiganji-Temple (Toyota-shi,Aichi- ken). M. A From Arizona State University .....	(248)
Special Issue:Religion, Society and Culture in Song China at the	
Time of Dogen's Travels:	
Wu Dialects in Jiangsu and Zhejiang Provinces	
Nakajima Kanki, Professor, Institute for the Study of	
Languages and Cultures of Asia and Africa, Tokyo	
University of Foreign Studies .....	(259)
Public Lecture:The Symbolism of the Kesa in Soto Zen	
Bernard Faure, Professer, Stanford University .....	(282)

**ANNUAL REPORT  
OF  
THE ZEN INSTITUTE**

No. 7 March 1996

Special Issue: Religion, Society and Culture in Song China at the Time of  
Dogen's Travels (Part2)

Edited by  
**ZEN INSTITUTE  
KOMAZAWA UNIVERSITY**  
**SETAGAYA-KU, TOKYO**

▽『駒澤大学禅研究所年報』第七号をお届けします。本号には、一九九五年五月二九日、アメリカ・スタンフォード大学教授ベルナル・フォール先生をお招きし、「袈裟の象徴性（The symbolism of the Kesa）」と題して行われた、本研究所主催の公開講演会、及び、例年達磨忌を記念し十月五日に開催している公開講演会に、今年度は花園大学学長河野太通老師をお招きして行われた、「隨處に主と作る」と題する公開講演会の、二つの講演記録を掲載することができた。フォール先生の御講演は、該博な知識と斬新な方法論を駆使して、袈裟信仰とも言える受容史の解明に大胆に挑戦されたもので、ダイナミックな論の構築には圧倒されるばかりであった。

さらに、河野老師のお話は、御自身の経験も踏まえて、仏教の社会的な役割を考える上で考慮されるべき重要な課題をも指摘されたもので、安易な禪的言説に潜む陷阱にも言及された、心に沁みる御講演であった。本号は例年にまして頁数も増えたが、お二人の先生の硬軟取り合わせた講演の記録で、内容的にも充実させることができた。心より御礼申上げます。

も充実させることができた。心より御礼申し上げます。

▽ところで、長年の懸案であった研究所独自のテーマが、先年「道元入宋時代の宗教と社会と文化」と決定し、爾来、主に学外の先生方をお招きしテーマに沿って定期研究会が開催され、前々号（第五号）において第一回の特集号を刊行することができた。しかし、前号では第二回の特集を組むには至らなかつた。さいわいに今号には、伊原弘・何燕生・金井徳幸・関口欣也・高橋秀栄・中嶋幹起の各先生方より玉稿をお寄せいただき、第二回目の特集を組むことができて、特集号の面目を保つことができた。年度末の超多忙な時期に御寄稿賜った先生方には、深く感謝申し上げます。

▽本号にはさらに、新進気鋭の研究者による最先端の研究も、運営委員会の審議を経て掲載が許可され、新鮮な誌面作りに御協力いたしました。持ち込み原稿がすべて掲載許可されることは限らないが、今後とも会員諸氏には、本『年報』を自説展開の場として果敢に挑戦されることを期待したいと思います。

（編集係 石川力山）

## 駒澤大學禪研究所年報 第七号

一九九六年三月三十日 印刷  
一九九六年三月三十一日 発行

発行者 駒澤大学禪研究所

東京都世田谷区駒沢一丁目二三番一号  
電話 〇三(三二六四)八九六六  
印刷所 中台整版  
代表者 鈴木格禪  
東京都千代田区飯田橋二一一二  
電話 〇三(三二六四)八九六六